



# 宗三小だより

## 5月号

志木市立宗岡第三小学校  
児童数334名(5月7日現在)  
住所 志木市下宗岡 1-15-30  
電話 048(471)2244  
Eメール <http://www.mune3syo.ed.jp>

【学校教育目標】 ○よく考える子ども ○思いやりのある子ども ○たくましい子ども

## 考動力 = 「考えて動く力」 校長 隅田 由香利

子供たちの元気な声が宗三小に響くことを信じて5月7日を心待ちにしておりましたが、すでにご案内の通り、学校再開が1カ月先送りとなり、この後も静かな新学期が続きます。4月にピンクの花を咲かせていた桜の木も今では緑の葉を風に揺らせています。

保護者の皆様におかれましては、臨時休業中の課題配付等でご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後も、随時メール配信やホームページを活用して情報を発信させていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、子供たちは、この2か月間、外出もできず、友だちとも自由に遊ぶことができず、家の中で過ごしている日々は、我慢をしたり自分の行動を自分で決めたりする場面が多かったのではないのでしょうか。そう思うと、我慢の時期は、自分で考える力を鍛える時期でもあるといえます。そこで、今回のテーマは、「考動力」としました。文字の通り、考えて動く力。私は、「考動力」とは、その場の状況を的確に判断する力、相手意識をもち柔軟に対応する力、そしてそれらを実行する力だと考えます。そこで、1日の過ごし方を自分で計画させてみるのところから始めてみましょう。臨時休業中、各学年の担任が1週間の時間割を考え、課題と一緒に配付しました。4月当初は前年度の復習中心だった課題も、連休明けには、新しい学習の内容にも踏み込んだ課題を準備しました。通学班で集合することもチャイムも休み時間もなく、学校で生活している時とは異なります。だからこそ、「今日はどんなことができるかな。」と、時間割を参考にワクワクしながら自分の予定を決める時間ももてると最高です。しかし、自分で決めた予定ですが、いつも予定通りに進むとは限りません。時には、予定にはないお手伝いを頼まれることがあるかもしれません。その時に、自分の予定を優先させるのか、それとも、お手伝いを頼んだ相手の状況を判断して予定を変更するのか、その時の状況を判断し、より良くなるよう自分で決めて考動できることはとても大切な力だと考えます。一日を振り返った時、自分で決めた一日がうまくいってもいなくても、何が良くて何が良くなかったのかを考え、次に生かせられればよいのです。たくさんの経験をしながら、今だからこそ考動力を磨いてほしいと思います。自分の力で考え、やり抜いた時、きっと大きな力になることでしょう。

6月1日の入学式は新1年生の皆さんにとって大事な日、在校生は2日が新学期スタートの日です。一か月後、みなさんに会える日を教職員一同、楽しみにしています。

一人一人の我慢の種が1か月後に笑顔の花を咲かせまように！！  
みんなで今を乗り越えましょう。